

発表項目 (行事名)	令和5年(2023年)新規就農者実態調査結果の公表について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>1 調査概要</p> <p>令和5年(2023年)1月1日～12月31日の間における道内の新規就農者の実態を把握するために、道農政部技術普及課が各(総合)振興局を通じ、市町村、農業委員会等の協力を得て実施。</p> <p>2 調査結果のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年の新規就農者数は407人 [R4:410人、R3:477人、R2:474人] ○ 新規就農者の内訳は、新規学卒が123人(30.2%)、Uターンが159人(39.1%)、新規参入が125人(30.7%) ○ 新規就農者の経営形態は①畑作132人(32.4%)、②稲作86人(21.1%)、③野菜・酪農各75人(各18.4%)の順に多い。 そのうち、新規参入者は、①野菜50人(40.0%)、②酪農29人(23.2%)、③果樹12人(9.6%)の順に多い。 		
参考			
報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)	
担当 (連絡先)	農政部技術普及課担い手対策係 (担当者:小塚、清野、小西) TEL ダイヤルイン 011-204-5385 内線 27-818		

令和5年(2023年)新規就農者実態調査結果の概要

1 調査方法

令和5年1月1日から12月31日までの間における道内の新規就農者の実態を把握するため、各(総合)振興局が市町村、農業委員会等の協力を得ながら調査したものを道農政部技術普及課が取りまとめた。

2 調査結果概要

(1) 新規就農者数【表1】

- 令和5年の新規就農者総数は407人で、令和4年に比べ3人減となった。
- 平成26年に600人台だった新規就農者数総数は、Uターン就農者や新規学卒就農者の減少により、近年、400人台で推移している。

(2) 就農者別の内訳【表1】

- 新規就農者のうち新規学卒就農者が3割強、Uターン就農者が4割弱、新規参加者が3割強となっている。
- 平成24年度に始まった農業次世代人材投資資金の活用などにより、近年、新規参加者数は110人～130人程度で推移している。

(3) 振興局別の内訳【表2】

- 新規就農者総数では、十勝(80人)、空知(66人)、オホーツク(62人)、上川(58人)が多く、4振興局で全体の7割弱を占める。
- 新規参加者は、上川(20人)、後志(18人)、日高(13人)、胆振(12人)が多くなっている。

【表1】 新規就農者数の推移

(単位：人、%)

年次	新規就農者数				合計
	新規学卒就農者	Uターン就農者	新規参加者	うち農家出身	
H26	204	283	125	21	612
27	189	274	126	21	589
28	181	268	117	27	566
29	193	251	125	15	569
30	187	225	117	14	529
R元	151	191	112	13	454
2	135	213	126	14	474
3	146	203	128	15	477
4	145	156	109	22	410
5	123	159	125	15	407
割合	30.2	39.1	30.7	-	100.0

※各年の数値には、過年度の未報告分を含んでいる場合がある。

《新規就農者の区分》

- ・新規学卒就農者：農家出身者で学校を卒業後直ちに、又は、卒業後に研修を経て就農した者
- ・Uターン就農者：農家出身者で他産業に従事した後、就農した者
- ・新規参加者：農外から新たに就農した者

【表2】 総合振興局及び振興局別内訳

(単位：人)

区分	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	合計	
															合計	
合計	R5	66	17	25	20	15	11	8	58	6	1	62	80	13	25	407
	R4	71	12	25	13	12	8	8	58	5	11	65	90	12	20	410
	増減	▲5	5	0	7	3	3	0	0	1	▲10	▲3	▲10	1	5	▲3
新規学卒	R5	19	1	3	4	1	2	1	11	3	0	25	41	5	7	123
	R4	18	3	1	2	0	0	3	15	1	4	39	49	1	9	145
	増減	1	▲2	2	2	1	2	▲2	▲4	2	▲4	▲14	▲8	4	▲2	▲22
Uターン	R5	38	6	4	4	1	2	6	27	3	0	28	31	1	8	159
	R4	44	4	5	5	6	6	2	17	2	2	21	32	1	9	156
	増減	▲6	2	▲1	▲1	▲5	▲4	4	10	1	▲2	7	▲1	0	▲1	3
新規参加	R5	9	10	18	12	13	7	1	20	0	1	9	8	7	10	125
	R4	9	5	19	6	6	2	3	26	2	5	5	9	10	2	109
	増減	0	5	▲1	6	7	5	▲2	▲6	▲2	▲4	4	▲1	▲3	8	16

(4) 経営形態別の内訳【表3】【表4】

- 令和5年の経営形態別新規就農者数は、畑作(132人)が3割強、稲作(86人)が2割強、野菜・酪農(各75人)が2割弱で、全体の9割強を占める。
- 農家出身者(新規学卒、Uターン)は、畑作(124人)が4割強、稲作(81人)が3割弱となっており、新規参加者は、野菜(50人)が4割、酪農(29人)が2割強となっている。
- 経営形態別新規参加者数の累計では、野菜(1,021人)が3割強、酪農(823人)が3割弱なのに対し、直近5年間では、野菜(261人)が4割強、酪農(124人)が2割強となっている。

【表3】 経営形態別新規就農者数

(単位：人、%)

区分	稲作	畑作	野菜	果樹	花き	酪農	肉牛	養鶏	養豚	養馬	軽種馬	その他	不明	合計
														合計
R5	86	132	75	12	5	75	14	0	0	0	1	7	0	407
新規学卒	19.5	50.4	9.8	0.0	0.0	19.5	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
Uターン	57	62	13	0	1	22	3	0	0	0	0	1	0	159
新規参加	5	8	50	12	4	29	10	0	0	0	1	6	0	125
R4	76	141	88	10	2	65	17	0	0	0	1	10	0	410
直近5年間	4.0	7.5	43.5	10.7	2.5	20.7	5.5	0.7	0.2	1.0	3.8	0.0	0.0	100.0

【表4】 経営形態別新規参加者数

(単位：人、%)

区分	稲作	畑作	野菜	果樹	花き	酪農	肉牛	養鶏	養豚	養馬	軽種馬	その他	不明	合計
														合計
累計	127	279	1,021	210	137	823	151	29	24	47	116	3	2,967	
直近5年間	4.3	9.4	34.4	7.1	4.6	27.7	5.1	1.0	0.8	1.6	3.9	0.1	100.0	

※累計はS45～R6の合計、直近はR元～R5の合計

◆振興局別の主な内訳(参考)

- 新規学卒者 畑作：十勝(35人)、稲作：空知(12人)
酪農：根室(7人)
- Uターン就農者 稲作：空知(31人)、畑作：十勝(25人)
酪農：根室(8人)
- 新規参加者 野菜：上川(10人)、酪農：根室(9人)
果樹：後志(6人)

(5) 就農時年齢別の内訳【表5】【表6】

- 令和5年のUターン就農者は、30代以下(140人)が全体の9割弱、そのうち29歳以下(96人)が6割強を占めている。
- 29歳以下が占める割合は、前年に比べて12ポイント増加の6割強となっている。

- 令和5年の新規参入者は、40代以下(112人)が全体の9割弱、そのうち29歳以下(21人)が2割弱を占めている。
- 30代と40代が占める割合は、前年に比べて4.9ポイント増加の7割強となっている。

(6) 新規参入者の出身地別の内訳【表7】

- 令和5年の地域別では、道内出身者(68人)が全体の5割強を占め、道外からは関東(22人)が2割弱と多くなっている。

【表7】新規参入者の出身地別内訳

区分	北海道	東北	北陸	関東	東海	近畿	中国	四国	九州	海外	不明	合計
累計	1,537	91	33	539	135	302	61	23	80	16	156	2,973
	51.7	3.1	1.1	18.1	4.5	10.2	2.1	0.8	2.7	0.5	5.2	100.0
直近5年	340	13	5	92	20	43	11	2	12	8	54	600
	56.7	2.2	0.8	15.3	3.3	7.2	1.8	0.3	2.0	1.3	9.0	100.0
R5	68	4	1	22	5	3	4	1	4	0	13	125
	54.4	3.2	0.8	17.6	4.0	2.4	3.2	0.8	3.2	0.0	10.4	100.0

※累計はS45～R5の合計、直近5年はR元～R5

(7) 新規参入者の投資額【表8】

- 新規参入者が就農に要した投資額は、全体では、「500万円以下」が18人、「500～1,000万円」及び「1,000～3,000万円」が16人と、3,000万円以下の割合は4割を占めている。
- 経営形態別では、野菜で「500万円～1,000万円」が11人、酪農は「1億円以上」が7人、果樹は「500万円以下」が2名で最も多くなっている。

(8) 新規参入者の経営面積【表9】

- 経営面積では、野菜で「1.1～5ha」が29人、酪農は50.1～100haが17人、果樹は1.1～5haが7人で最も多くなっている。

【表5】就農時年齢別のUターン就農者数

(単位：人、%)

区分	29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上	不明	合計
直近5年	450	331	108	19	11	3	922
	48.8	35.9	11.7	2.1	1.2	0.3	100.0
R4	75	54	20	5	2	0	156
	48.1	34.6	12.8	3.2	1.3	0.0	100.0
R5	96	44	17	2	0	0	159
	60.4	27.7	10.7	1.3	0.0	0.0	100.0

※直近5年はR元～R5の合計

【表6】就農時年齢別の新規参入者数

(単位：人、%)

区分	29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上	不明	合計
直近5年	89	239	196	34	20	22	600
	14.8	39.8	32.7	5.7	3.3	3.7	100.0
R4	20	41	33	3	6	6	109
	18.3	37.6	30.3	2.8	5.5	5.5	100.0
R5	21	46	45	6	5	2	125
	16.8	36.8	36.0	4.8	4.0	1.6	100.0

※直近5年はR元～R5の合計

【表8】新規参入者の投資額

(単位：人、%)

	500万円以下	500万円～1000万円	1000万円～3000万円	3000万円～5000万円	5000万円～7000万円	7000万円～10000万円	1億円以上	不明	合計件数
稲作	1	0	0	0	0	0	0	4	5
畑作	1	1	0	1	1	0	0	4	8
野菜	10	11	8	4	0	0	2	15	50
果樹	2	1	0	1	0	0	0	8	12
花き	1	2	1	0	0	0	0	0	4
酪農	0	0	2	5	2	3	7	10	29
肉牛	2	0	2	2	0	1	2	2	10
養鶏	-	-	-	-	-	-	-	-	0
軽種馬	0	1	0	0	0	0	0	0	1
その他	1	0	3	3	0	0	0	0	6
合計	18	16	16	15	3	4	10	43	125

【表9】新規参入者の経営面積

(単位：人、%)

	1ha以下	1.1ha～5.0ha	5.1ha～10.0ha	10.1ha～30.0ha	30.1ha～50.0ha	50.1ha～100.0ha	100.1ha以上	不明	合計件数	平均経営面積(ha)
稲作	0	3	0	0	0	0	0	2	5	1.5
畑作	0	2	3	3	0	0	0	0	8	8.8
野菜	18	29	1	2	0	0	0	0	50	2.4
果樹	4	7	1	0	0	0	0	0	12	2.3
花き	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0.3
酪農	0	1	1	1	5	17	3	1	29	65.9
肉牛	1	2	0	5	2	0	0	0	10	19.5
養鶏	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-
軽種馬	0	0	1	0	0	0	0	0	1	9.7
その他	1	3	0	1	1	0	0	0	6	12.1
合計	28	47	7	12	8	17	3	3	125	

[参考]

1 (公財) 北海道農業公社の就農促進活動

(1) 就農相談活動【表 10】

- 令和5年度における(公財)北海道農業公社への相談人数は475人(前年対比80.9%)で、うち新規就農相談が439人で全体の9割強となっている。
なお、女性からの相談件数は142人で3割弱となっている。

【表10】(公財)北海道農業公社への相談状況

年度	新規就農相談①				農業体験実習相談②			
	道内	道外	計	うち女性	道内	道外	計	うち女性
H30	266	328	594	164	14	27	41	14
R元	287	297	584	136	20	53	73	30
2	293	227	520	133	12	12	24	7
3	220	282	502	129	6	9	15	3
4	270	295	565	152	11	11	22	10
5	224	215	439	127	11	22	33	14

年度	無料職業紹介③				計(①+②+③)			
	道内	道外	計	うち女性	道内	道外	計	うち女性
H30	13	15	28	7	293	370	663	185
R元	1	4	5	1	307	350	657	166
2	3	4	7	2	305	239	544	140
3	2	0	2	1	226	291	517	132
4	0	0	0	0	281	306	587	162
5	3	0	3	1	238	237	475	142

資料:(公財)北海道農業公社調べ

(2) ホームページアクセス件数【表 11】

- 令和5年度における(公財)北海道農業公社のホームページのアクセス件数は、11万8,263件(対前年比86.9%)で、近年、減少傾向となっている。

【表11】(公財)北海道農業公社のHPアクセス件数

(単位:件)

年度	アクセス数	年度	アクセス数	年度	アクセス数
H27	112,148	H30	190,222	R3	155,524
28	127,879	R元	244,162	4	136,015
29	148,049	2	165,838	5	118,263

2 農業次世代人材投資資金の交付状況【表 12】

- 令和5年度の農業次世代人材投資資金は、就農準備資金で119人、経営開始資金で595人の合計714人が交付を受けている。
- 交付対象者では非農家出身者の割合が高く、準備資金、経営開始資金ともに8割強となっている。
- 令和4年度に拡充された経営発展支援事業(ハード)では、91人が交付を受けている。

【表12】農業次世代人材投資資金の交付状況

(単位:人、%)

年度	準備資金			経営開始資金			経営発展支援事業		
	非農家出身	農家出身	計	非農家出身	農家出身	計	新規参入	新規学卒・リターン	計
R元	125 73.5	45 26.5	170 100.0	444 78.3	123 21.7	567 100.0			
2	111 71.2	45 28.8	156 100.0	466 79.8	118 20.2	584 100.0			
3	98 79.7	25 20.3	123 100.0	459 79.1	121 20.9	580 100.0			
4	108 81.8	24 18.2	132 100.0	494 86.4	78 13.6	572 100.0	59 77.6	17 22.4	76 100.0
5	107 89.9	12 10.1	119 100.0	509 85.5	86 14.5	595 100.0	79 86.8	12 13.2	91 100.0

※令和4年度の就農準備資金から、新規就農促進研修支援事業を含む。
※令和5年度の就農準備資金から、新規就農者確保緊急円滑化対策事業を含む。

3 農業労働力の推移【表 13】

- 令和6年2月1日時点の農業労働力は、96千人で、令和2年に比べ1.8千人減少している。
- 臨時雇いは、136.6千人で、令和2年に比べ42.6千人増加している。

【表13】農業労働力の推移

(単位:千人)

区分	R2	R3	R4	R5	R6	R6-R2
農業労働力	97.8	100.2	97.7	96.3	96.0	▲ 1.8
基幹的農業従事者	70.6	72.1	69.3	67.6	65.2	▲ 5.4
役員・構成員	11.8	12.1	13.3	13.5	13.3	1.5
常雇い	15.4	16.0	15.1	15.2	17.5	2.1
臨時雇い	94.0	123.0	135.5	158.9	136.6	42.6

資料:農林業センサス、農業構造動態調査(各年2月1日時点)
※基幹的農業従事者:主に自営農業に従事した世帯員
※役員・構成員:農業に150日以上従事した人(経営主を含む。)
※常雇い:年間7ヶ月以上の契約で主に農業経営のために雇った人
※臨時雇い:「常雇い」に該当しない一時的に雇った人

【お問合せ先】

北海道道農政部生産振興局技術普及課
担い手対策係
電話:(代表)011-231-4111(内線27-818)
(直通)011-204-5385



その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.